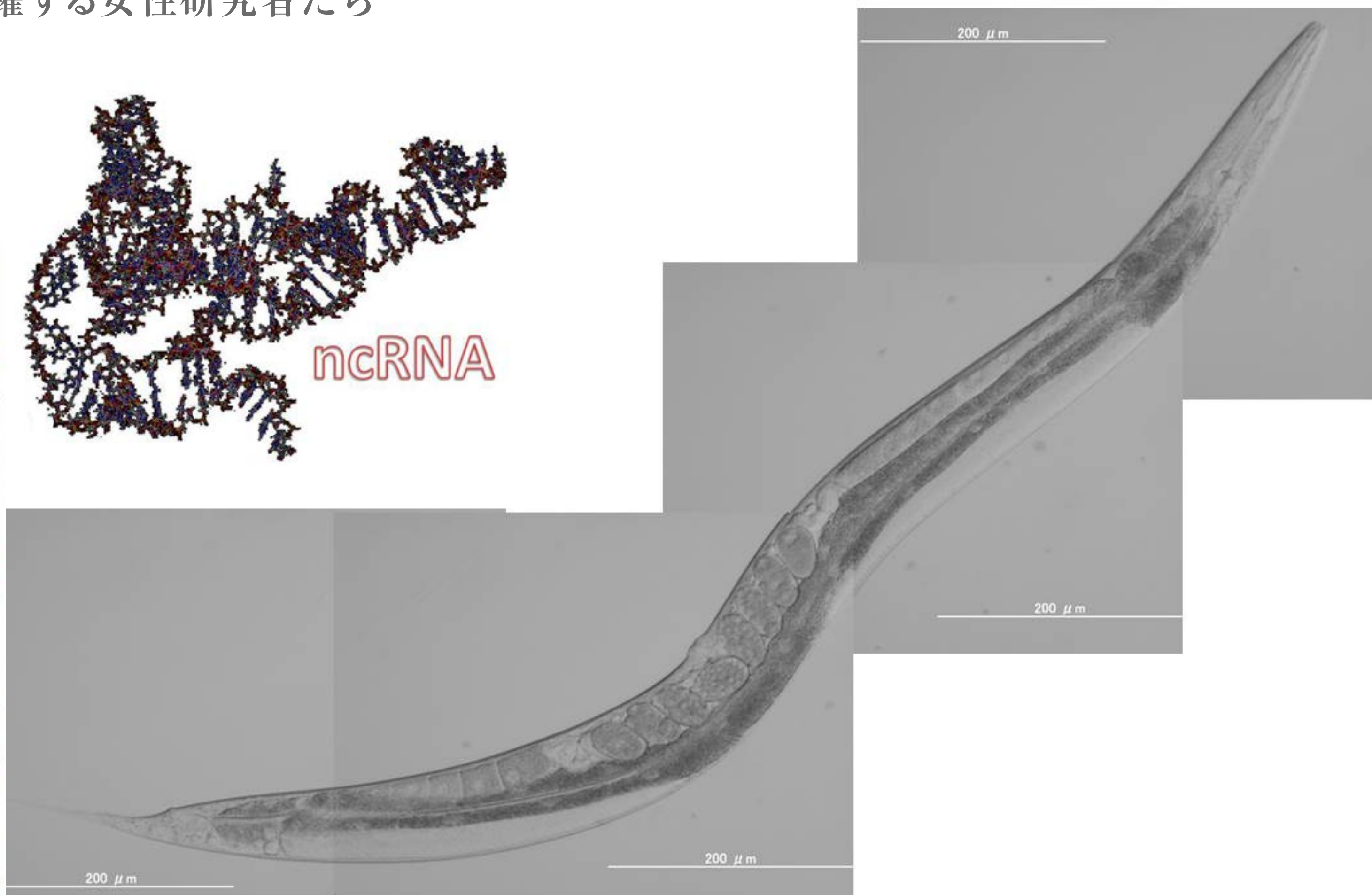
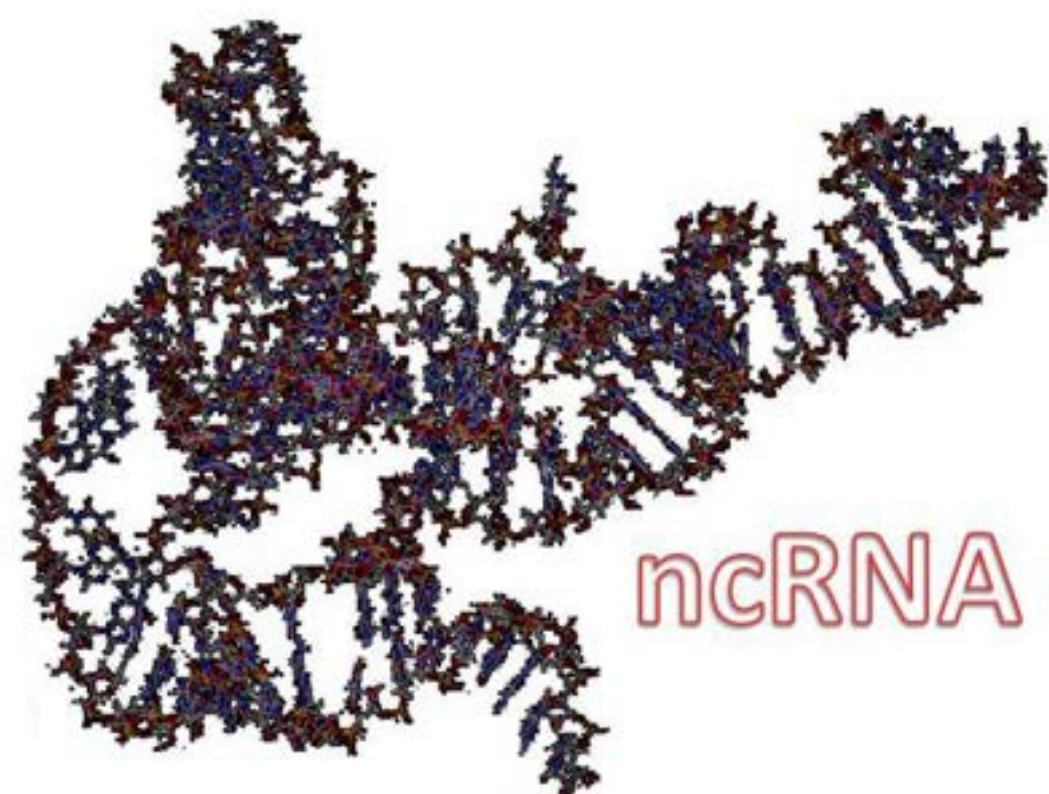
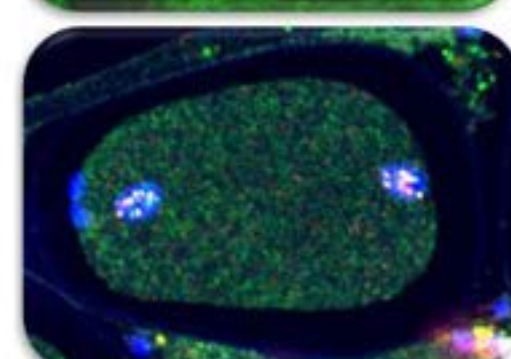
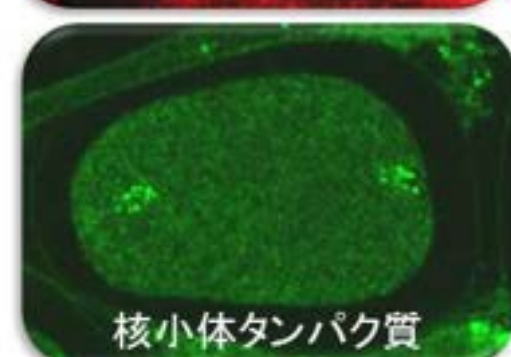
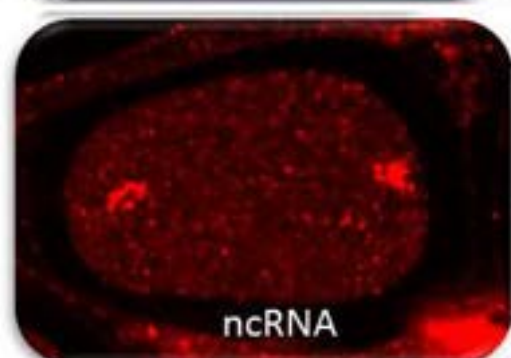
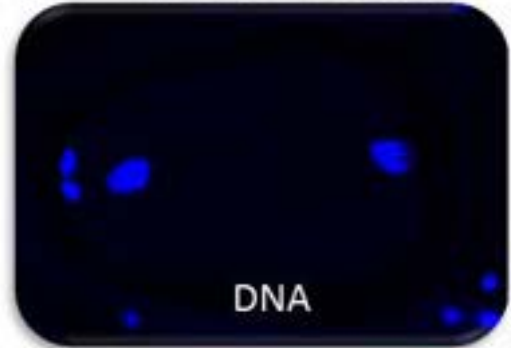
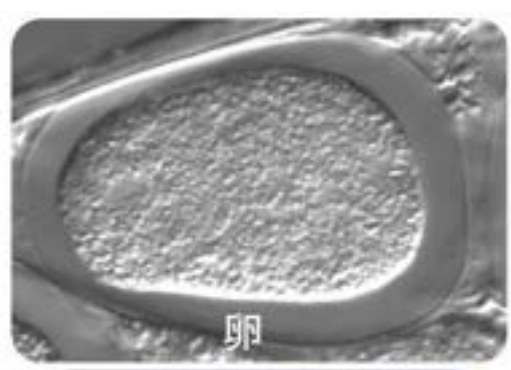


Diversity *in* Science

弘前大学で活躍する女性研究者たち



生物の仕組みを解明する。

白黒の写真は線虫 (*Caenorhabditis elegans*) を

微分干渉顕微鏡で観察した画像です。

体の中央に見える楕円形の物体は受精した卵で、

胚発生が進んでいる様子がわかります。

カラーの写真は現在解析している線虫の機能性 ncRNA の

分子モデルとその発現を卵で観察したものです。

農学生命科学部

牛田 千里

Chisato Ushida

専門分野

○ 分子生物学

研究テーマ

生物の設計図であるゲノムには多数のncRNA遺伝子が存在します。複雑な遺伝子ネットワークや細胞内システムを理解するためには、それらの機能や発現制御のしくみを知ることが重要ですが、実際にはほとんどわかっていません。私たちの研究グループでは、モデル生物である線虫やマウスを材料に、ncRNAの生理機能や分子機能を明らかにし (Functional RNomics)、これまで不明であった新たな遺伝子ネットワークの存在や細胞内システムの発見と、それらの仕組みの解明を目指しています。

My Work-Life Balance

「這えば立て、立てば歩きの親心」とはよく言ったもので、子供が小さい時には早く大きくなれないかなと思っていました。時のたつのは早いもので、その子も反抗期のティーンエイジャー。憎まれ口などたたかない可愛い3歳の頃に戻らないかなと思う今日この頃です。



3歳のときの息子



弘前大学